

第37回 SATOU フォーラム

第32回から新会場（八重洲）です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右 QR コード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)



記

日時：2024年2月6日（火） 16:00～19:00（受付開始は15:50より）

会場：イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomB

中央区京橋1-1-6 越前屋ビル4階

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。

(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。)

- >15:50～16:00 受付
- >16:00～16:15 会員情報発信
- >16:15～18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

「どうなる？2024年の世界と日本経済のゆくえ！」

—いまのところ好調に見える米国経済は今年も続くのか。

なんといっても11月の大統領選の結果によって、「もしトラ」になったら、世界にプラス・マイナスの影響は？

不動産不況・若年労働者不足を抱え低成長を余儀なくされた中国経済、習近平の強権政治下でどうなるのか？

せまる日銀利上げ、物価高騰に追いつかぬ賃上げ、どうなる日本経済？—

講師：北井 義久 先生（日鉄総研株式会社チーフ・エコノミスト）

>18:00～19:00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定] 第38回 2023年3月12日（火） 演題・講師未定



東京駅八重洲中央口徒歩4分

(東京メトロ銀座線京橋7番出口徒歩3分)

八重洲地下街24番出口出で

すぐ右側のビル4階です

【北井 義久先生 略歴】

昭和 28 年 9 月 16 日生

東京都出身

現住所 〒177-0051 東京都練馬区関町北 5-14-21

学 歴 昭和 51 年 3 月 東京大学経済学部経済学科卒

経 歴 昭和 51 年 4 月 (株)日本長期信用銀行入行 融資第 5 部配属

54 年 3 月 調査部配属

61~63 年 調査部ニューヨーク市駐在

63 年 10 月 調査部マクロ経済担当グループリーダー

平成 5 年 7 月 (株)長銀総合研究所出向 経済調査部 主任研究員

11 年 2 月 (株)日本長期信用銀行 調査部長

12 年 6 月 (株)新生銀行 調査部長

13 年 5 月 信用リスク評価部 経済調査室長

15 年 1 月 伊藤忠マネジメントコンサルティング(株) チーフエコノミスト

18 年 4 月 伊藤忠商事(株) 調査情報室 チーフエコノミスト

21 年 10 月 (株)日鉄技術情報センター チーフエコノミスト

24 年 10 月 日鉄住金総研 (株) チーフエコノミスト

現在に至る

所属学会：金融学会、日本経済政策学会、産業学会

共著書・「金融がわかる事典」(平成 5 年 2 月、日本実業出版社)

・「どうなる…『ITバブル』崩壊後」(平成 14 年 6 月、学生社)他

以上

安易な言い換えは毒がある

◆技能実習制度の怪？

現行の「技能実習制度」は、「実習や人材教育」の名を借りた「ヒト買いあるいは移民」だ。約30年前に始まったこの制度は、ずーっとその目的を「人材育成による国際貢献」とうそぶいてきた。「移民政策」はとらない建前の中で、明らかな労働力不足に遂に今回目的を「人材確保と人材育成」に変えざるを得なくなった。

ベトナム等の東南アジアからやってきた若者が慣れない異郷の地で、最長5年間当初の職場に縛りつける現行制度は、あまりに労働者の立場を無視したもので、期間中の逃亡や失踪などの問題が頻発し、これも見直しが検討される。

22年末の外国人労働者総数は、182万人にのぼる。

日本ファーストの押し付けでなく、**来日したくなるような「何かの魅力」を秘めた国になれぬものか？** ただし、欧州の移民政策の失敗の先例に学び、ずるずる安易な移民政策をとることは禁物だ。

◆言い換え毒

前項の実習制度をはじめ、わが国は、実態と離れた単なる言葉の言い換えによって、**その実態を直視し、そもそもの本質に迫ることを無意識に避けるくせがある。考えてみるとどうも官僚の発想に国民が中毒してしまったのかもしれない。**

米国との第2次世界大戦の「敗戦」を「終戦」と言ったりする。なにか時の経過で自然に戦争が終わってしまったかのような言い方である。なぜ、馬鹿な戦争をしたのか？ ほとんどの国民がどうしてそれに引きずられたのか？ マスコミを含め世の中がどんな扇動をしたのか？ 等々あまり考えなくなりそうだ。

「戦車・戦艦」を「特車・護衛艦」と言うなど例は限りなくある。

憲法を含め法律の用語などは、軽々に言い換えるわけにはいかない。その場合は、解釈を変えることによって、同じような効果をもたらす。

法解釈の絶対的・独占権を握っているのが内閣法制局だ。80人足らずの小組織が“法制マフィア”、とも呼ばれるのは、その専門性と団結力である。法制局の長官は、歴代内閣にとって頼れる“守護神”、であると同時に。ウルサイ存在だった。

安倍首相は、集団的自衛権の行使を可能にするため、**あえてこれまでの法制局長官は、同局の次長が昇格する慣例を破り**、旧知の外務省条約局長出身の元駐仏大使の小松を異例の法制局長官に起用した。

その是非はあるにしても、そうでもしないと法制局マフィアの重しを動かすことができないというのが背景にあった。

◆岸田惨歌

岸田内閣が内閣支持率で低空飛行を続けている。残念なことだ。“適材適所”の内閣を組織し、自民党政治のカネまみれの実態を自分の身を呈しながら、無知蒙昧の我々に教えてくれているのではないか。さすが大きな？ 聞く耳を持った宰相だ スバラシイ！ 定食屋のメニューより、ひんぱんに変わるので大臣の名前も覚えてないが、①公職

選挙法違反のネット広告を勧めていた所管の法務副大臣、②過去に税金滞納による資産差し押えを4回も受けていた所管の財務副大臣、③女性との不適切な関係を持っていた所管の文部科学政務官等、いずれもその所管業務にふさわしくない具体的事例を有する者を、内閣に選り抜き、宰相自身法治国家としてその徹底に努力を惜しまない。

政治資金規正法違反の裏金がバレたら、訂正すればヨイのなら警察はイラナイヨになってしまう。

“泥縄、という言葉がある。辞書には、「泥棒をとらえてから縄をなうような、ことが起きてから急にあわてて用意にかかることを言う」ようだが、国会議員が自分を規制する法律をザルでないように創るだろうか。

今後は“泥縄、は、「泥棒が自分をとらえる縄をなうこと」と訂正する必要がある。

岸田首相は、「信頼回復のため“火の玉、になって自民党の先頭に立つ」と言っているが、僕の田舎では“火の玉、は亡くなった人が墓場に出ることとなっている。四代目宰相は、聞く耳はあっても、その発信力が心もとない。ここは「“火だるまになって、自民党をつぶす先頭に立つ」と言いたいのか。

以上

(文責：佐藤)

第 37 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)
よろしくお願い申し上げます。

フォーラム参加費:6,000円(税込)(交流会費 1,000円含む)

交流会参加 交流会不参加

お名前			
企業名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

*お忙しい中恐れ入りますが、**2月1日(木)頃まで**にご返信をお願いできればと存じます。

<事務局>

プラチナ出版株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7
京橋鈴木ビル 7F
事務局：今井 090-1701-7108
[Tel:03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax:03-6264-4644
E-mail:info@pulatinum-pub.co.jp

振込先：三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697
口座名義：佐藤 一雄